

第一建設工業プレゼンツ

デビュー30周年記念

# 仲道郁代

## ピアノ・リサイタル

4歳からピアノを始め、国内外での受賞を経て、1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビューした仲道郁代。デビュー30周年を記念したピアノ・リサイタルを新潟で開催いたします。

音楽の無限の可能性を信じ、魅力的な演奏とともに、豊かな人間性が多くのファンを魅了している仲道郁代が奏でる優美で壮大な世界を是非お楽しみください。

photo:Kiyotaka Saito

**message** デビュー30周年という節目の年に、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館に伺えますこと、とても嬉しく思っております。たくさんの方々に支えていただいた30年は、あっという間ではありましたが、多くの経験をさせていただき、たくさんの学びを重ねてまいりました。この記念コンサートでは、これまでに演奏してまいりました曲の中から、特に大好きな曲を演奏いたします。どの曲も、ピアノを弾く喜びに満ちたものばかりで、楽しみにしています。ピアノの音のひとつひとつが、皆さまの心に届き、どこか懐かしい風景を思い出したり、これからへの希望につながったり、さまざまな思いに広がっていきますように…。

仲道郁代

公演日時

11月26日(土)

開演 14:00 (開場 13:30)

会場

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

チケット  
料金

全席指定：3,500円(税込)

※当日券は前売券の500円増し(前売券完売時は販売無し) ※未就学児入場不可

チケット  
取扱い

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館、新潟伊勢丹、トップトラベル新潟(DeKKY401内)、文信堂CoCoLo万代(新潟駅ビル内)、インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)、セブンイレブン(セブンチケット)

お問い合わせ

BSNイベントダイヤル TEL:025-247-0900 (平日 9:30~17:30受付)

特別協賛

 第一建設工業

主

催

 BSN新潟放送



## Program

### 第1部

グリーク:「叙情小曲集」より アリエッタ / 蝶々 / ノクターン  
シューマン:「子供の情景」op.15より トロイメライ  
モーツァルト:ロンド ニ長調 K.485  
シューマン/リスト:歌曲集(ミルテの花)op.25-1より「献呈」S.566  
リスト:愛の夢 第3番 変イ長調 S541  
リスト:メフィスト・ワルツ 第1番「村の居酒屋での踊り」S.514

### 第2部

ショパン:ワルツ 第1番 変ホ長調op.18「華麗なる大円舞曲」  
ショパン:ワルツ 第6番 変ニ長調 op.64-1「小犬のワルツ」  
ショパン:ワルツ 第7番 嬰ハ短調op.64-2  
ショパン:12の練習曲op.10 第12番 ハ短調「革命」  
ショパン:12の練習曲op.10第3番 ホ長調「別れの曲」  
ショパン:ポロネーズ第1番 嬰ハ短調op.26-1  
ショパン:ポロネーズ第3番 イ長調op.40-1「軍隊」  
ショパン:ポロネーズ第6番 変イ長調op.53「英雄」

## Profile

### 仲道 郁代

Ikuyo Nakamichi (Piano)

<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

4歳からピアノを始める。国内外での受賞を経て1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。温かい音色と叙情性、卓越した音楽性が高く評価され、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活躍している。これまでに国内の主要オーケストラと共演を重ねる他、マゼール指揮ピッツバーグ響、バイエルン放響、フィルハーモニア管、ブッカーマン指揮イギリス室内管(ECO)、ブルゴス指揮ベルリン放響、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルなど海外オーケストラとも多数共演している。99年カーネギーホール、2001年セントペテルブルグ、ベルリン・フィルハーモニーホールでデビュー。05年には、英国チャールズ皇太子夫妻ご臨席のもとウインザー城で行われた「結婚祝祭コンサート」に出演。

2016/2017シーズンはデビュー30周年を記念し、小林研一郎指揮ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団との共演、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団との日本ツアー、各地での記念リサイタルなどが予定されている。

CDはソニー・ミュージックと専属契約を結び多数リリース。新著の「ピアニストはおもしろい」(春秋社)も版を重ねている。メディアへの出演も多く、音楽の素晴らしさを広く深く伝える姿勢は多くの共感を集めている。

### りゅーとぴあ

新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

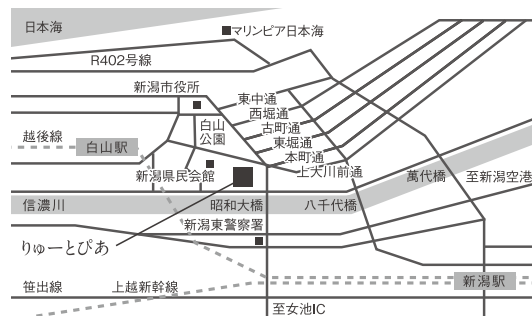


photo:  
Kiyotaka Saito

